

テーマ

地域産業を担う人材の確保・育成

## 業界独自の職業訓練校開校が技術の伝承や組合青年部設立に大きく寄与

### 鳥取県左官業協同組合

個々の企業の技術指導ではなく、業界の組織として技術の伝承・向上を図るため、組合員が企業の枠を超えて、人材育成、後継者育成のために自己の技術を指導員として供与している。

#### 背景と目的

建設業の中でも歴史と伝統的な技術を持った左官業は小規模・個人・零細企業が多く、個人の技術力のみで成立していた。しかし、時代の変革と次世代への技術継承と業界の生き残り戦略のために任意組合時代の昭和53年4月に「鳥取県左官高等職業訓練協会」を発足。訓練校を運営し、組合員企業の従業員等に対する認定職業訓練を開始した。

#### 事業・活動の内容

職業訓練校は、10人定員（1年・

2年合計）であるが、昭和53年の開港以来130名もの卒業者を数える。

年間カリキュラムは、高度な技術の継承を念頭に置き、指導員免許を所持している組合員が講師を務めながら指導員会議を開催して編成している。

訓練内容は、学科と実技で、2年間の訓練機関で研修総時間は2,800時間となる。また、組合の教育部会が実施する技能講習会・実技研修会や全国技能競技大会、鳥取県技能祭への参加など新しい左官材料や新工法の知識習得を図るとともに、訓練生にも参加、見学させるなど人材養成、後継者育成に努めている。

訓練校の開校は、効率の悪い技術職人材の技術継承を解消し、計画的な人材育成と多能工としての後継者育成が可能となったほか、新建材の普及など左官工事も多様

化するなか、従業員が多くの知識を習得でき、技術のレベルアップが図られている。小規模事業者が多い組合組織にあつて、高度な伝統技術・人間力向上に着実な成果を上げている。

#### 成果・効果

訓練校を卒業した組合員企業の後継者同士のつながりもできており、組合としての後継者育成にもつながっている。次世代経営者の組織として、平成20年度には組合青年部を25名の会員により設立した。青年部の会員の中には訓練校の卒業者も多く、人的なつながりを強めている。

組合では、青年部員を理事に登用しており、各種講習事業・大会の運営に大きな戦力となるほか、青年部が中心となって独自の技術講習、技術伝承のPR活動も行っている。



▲職業訓練校における授業の様子

▼泥だんごづくりを通して左官をPR



#### 鳥取県左官業協同組合

住所：〒680-0915  
鳥取県鳥取市緑ヶ丘3丁目14-1  
設立：平成6年10月  
出資金：39,700千円  
電話：0857-26-5120  
URL：  
<http://www.chuokai-tottori.or.jp/~sakangyo/>  
業種：左官工事業  
組合員：85人